

【小川自治会自主防災隊】

下小川支隊通信

平成30年度第2号（通算第10号）

発行・平成30年10月13日

制作・下小川支隊 支隊長会

●「総合防災訓練」のお知らせ

日 時：10月21日（日）

小川地区の本年度の「総合防災訓練」が目前にせまってきましたが、今回も午前9時30分首都直下型地震の発生を想定して行われます。すでに自治会などからの連絡で会員の皆様はご存知のことと思いますが、本通信で再度のご確認をお願いいたします。

●第1部（午前の部）旗出し訓練・安否確認

旗出し訓練

各ご家庭はお手元の「無事です」の旗を、遅くとも**10:00**までに、玄関先等の見えやすい場所に出してください。

安否確認

班長又は支部長が旗出しの確認のため担当地区を見回りますので、旗はしばらくの間出したままにしておいてください。なお、旗が出ていないお宅がありましたら「大丈夫ですか？」と声をかけますので、ご在宅の方は指示にしたがってください。

消化器の耐用期限をご確認ください

期限の切れた消化器がありましたら、廃棄の受付を致します。総合防災訓練当日、訓練場所（蜂谷戸公園）の防災グッズ展示場の傍にご持参ください。 廃棄料実費 500円

●災害は忘れた頃にやってくる??

防災訓練の重要性については十分ご承知のことと思いますので、少々の外れのことを書きます。

日本は、歴史的に遡っても地震、津波、噴火、台風、豪雨……と大きな災害に見舞われてきました。一方、「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉があるようにある程度の間隔はあったように思います。しかし、今は、リアルタイムで全国に報道されるせいもあるかもしれませんが、「災害は忘れた頃……」には現実味がなくなったように思います。例えば、7年前のあの東日本大震災からを考えても毎年のように大きな災害が起こっています。特に今年は酷いことになりましたが、起こるたびに悲惨な映像を終日見せられると明日は我が身かと戦慄が奔ります。幸いに直接被害に遭わなかったといって
下小川公園から蜂谷戸公園へ向かう（2016年撮影）→

もしもの時の心構えと準備のため、ご家族、ご近所の皆様とお誘い合ってご参加ください。

本訓練は年度内に行われる小川自治会自主防災隊としての唯一の全体行事です。町田消防署の指導も組まれておりますので、小川地区全体の総括的な訓練としては是非多くのご参加をお願いいたします。なお、雨天の場合は翌週の**28日（日）に延期** いたします。

●第2部（午後の部）総合防災訓練

総合防災訓練（13:30～15:30）

災害に負けない防災知識を学ぶ

～体験と学習～

場 所 蜂谷戸公園

—— 注 意 下小川支隊の皆様へ——

13:00までに下小川公園に集合してください。代表支隊長の訓練概要の説明後、全員で蜂谷戸公園に向かいます。

訓練内容

訓練1：起震車体験

消化器による初期消火訓練

訓練2：段ボールトイレの製作

訓練3：AEDの取り扱い訓練

展 示：防災グッズ共同購入と相談コーナー

※参加者へは備蓄用品（アルファーマイなど）のお土産を準備しています。

も、それなりの用心と覚悟はしておく必要があるのではないのでしょうか。なお、下小川支隊は、旗出しの訓練の成果は毎年好調ですが、本番の「総合防災訓練」への参加者も昨年を上回るよう皆様のご協力をよろしく願いいたします。
代表支隊長 荻原紹夫

